

平成27年度 第2回東濃西部少年センター運営協議会 議事録

日 時 平成28年1月6日(水) 15:00～16:30

場 所 多治見市役所北庁舎4階 会議室

1. 開 会

(1) 所長あいさつ

宮嶋所長 ただ今から、平成27年度第2回運営協議会を開催いたします。本日も、議事その他について、いろいろとご意見をいただき、少年センターの運営に役立てていきたいと考えております。本日はよろしくお願いたします。

(2) 会議の成立の確認

センター柴田 本日の運営協議会は今現在、委員の皆様16名中13名の方々にご出席いただいております。よって、東濃西部少年センターの管理に関する規則第6条第3項「委員の過半数の出席」を満たしており、会が成立していることをご報告いたします。それではただ今より議事に入ります。渡辺委員長、議長をお願いいたします。

2. 議 事

(1) 平成27年度 補正予算(案)について

渡辺議長 それでは、議事の(1)平成27年度補正予算(案)について、少年センターより説明をお願いします。

宮嶋所長 別紙資料により説明。

渡辺議長 ただ今、少年センターより説明がありました平成27年度補正予算(案)について何かご質問、ご意見はありませんか。・・・それでは承認いただけますでしょうか。

(異議なし)の声

渡辺議長 ただ今の、平成27年度補正予算は承認されたものといたします。

(2) 平成28年度 業務計画(案)について

渡辺議長 次に(2)平成28年度業務計画(案)について説明をお願いします。

宮嶋所長 別紙資料により説明。

渡辺議長 ただ今、説明がありました平成28年度業務計画(案)について何かご質問、ご意見はありますでしょうか。

・・・それではただ今の平成28年度業務計画(案)について、承認いただけますでしょうか。

(異議なし)の声

渡辺議長 ただ今の、平成28年度業務計画(案)は承認されたものといたします。

(3) 平成28年度 予算(案)について

渡辺議長 次に、議事の(3)平成28年度予算(案)について、少年センターより説明をお願いします。

宮嶋所長 別紙資料により説明。

渡辺議長 ただ今、説明がありました平成28年度予算(案)について何かご質問、ご意見はありますでしょうか。・・・それでは承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)の声

渡辺議長 ただ今の、平成28年度予算(案)は承認されたものといたします。以上で議事は終了しました。

3. その他

(1) 平成27年度4～11月の声かけ活動・相談活動等について

渡辺議長 次に3.その他の項目で(1)平成27年度4月～11月の活動について報告をお願いいたします。

セツ-坂井 別紙資料により報告。

渡辺議長 本年度11月までの報告をしていただきました。何かご質問、ご意見はありませんか。・・・ないようですので、続きまして皆様からご意見を伺いたいと思います。まず、はじめに多治見警察署生活安全課の栗本課長からよろしく申し上げます。

(2) 各委員及びオブザーバーとの意見交換

栗本委員 多治見警察署の資料『少年非行の概況』がお手元にあると思いますが、11月末時点で、非行少年、不良行為少年ともに前年度より減少しております。但し、

検挙に至っていないケースもあり、件数が減ったからといって感覚的には一概に減っているとは言えないという認識であります。不良行為少年については、総数で1,005人から866人に減っております。1月から3月の寒い時期に減っていますが4月以降は前年並みとなっております。内訳について、やはり多いのは喫煙と深夜はいかいでございます。

次に児童虐待の認知状況についてですが、平成26年から27年にかけて身体的虐待やネグレクトに関する相談、通報が増えている状況がございます。中でも親からの虐待やネグレクトが増えています。

「サイバー補導」についてご説明しますと、これは警察がインターネットの掲示板サイト等をサイバーパトロールして不適切な書き込みを探し、待ち合わせ場所へ行ってそこで補導するというものです。これが11月までに3件ありました。件数は少ないですが、このサイバー補導はなかなか難しくて補導に至るケースが少ない中で、多治見署の3件は県下では一番多いという状況でございます。

ここで補導した女子の話聞くことで、それにかかわる大人の「少年の福祉を害する犯罪」が明らかになります。これは青少年健全育成条例違反や児童買春で12件ありました。これも多治見署が県下で最も多い検挙になっております。特にこの福祉犯被害には警察でも力を入れているところであり、これからはもしっかり取り組んでいきたいと考えております。

渡辺議長 ありがとうございます。それではコンビニエンスストア等防犯協会会長の荒木様、最近の状況についていかがでしょうか？

荒木委員 現在、3市のコンビニは約80店舗あります。万引き等についてはかなり少なくなっています。コンビニ強盗は昨年で3件ありました。青少年によるコンビニでのたむろ等は指導員さんたちボランティアさんや警察の方々の巡回により相当減っていると思います。その他、たばこ・酒類の販売時の年齢確認で努力はしていますが、問題が起きることがあります。確認時に「なんで、そんなこと聞くんや！」といったトラブルです。

また、少し気になっていることがあります。以前は子どもさんが携帯の違法アクセス等で多額の料金を請求されることがあったようですが、最近ではインターネットの悪質サイトに誘導されるままに、取り消しが出来ず商品が送られてきて、多額の料金を支払ったという会話をよく聞くようになりました。それが気になってます。

渡辺議長 ありがとうございます。それではPTAの立場で瑞浪の日比野さん、何かありましたらお願いします。

日比野委員 PTAとして青少年指導にかかわって夜7時頃から巡回すると、子どもはまずいない。夏休みに高校生が川原にいるくらいで、悪さをする子どもはあまり見

かけない。いても、その時はその高校の先生がいたので注意すると解散して終わりました。ところで、お聞きしたいのは、深夜はいかいという補導行為は何時からになるのでしょうか？小学生で補導されたということですから・・・

栗本委員 小学生でも高校生でも10時です。

〔参考 東濃地区小中高生徒指導連絡協議会による「児童・生徒への指導基準」では小中学生は夜9時以降が外出禁止です。〕

日比野委員 小学生が補導されているということで、それがちょっと気になりました。

渡辺議長 ありがとうございます。高校PTA連合会の新海さん、いかがでしょう。

新海委員 深夜はいかいが多いということを知ると何か考えないといけないと思いますが、高校生は部活とか塾とかで10時を過ぎる子がいたり、その後どこかに寄ってしまうとかあるかも知れません。自分で見える範囲では問題ないのですが、見えないうところで問題が隠れていてそこが見えないことが課題なのかなと思います。PTAの中でもその問題がうまく共有されずにいるということもあると思います。

渡辺議長 ありがとうございます。それでは東濃フロンティア高校長の西尾様、いかがでしょう。

西尾委員 最近では以前に比べ学校の外での不良行為等は相当減ってきていると思います。しかし問題は今までのお話のように、表に出ないだけで実際にはむしろ増えていると思います。迷惑行為等の問題より人間関係がうまくいかないことでの自殺願望やいじめ等の教育相談的な内容で、支援しなければいけない生徒が増えています。

そういう子たちが少年センター等の相談窓口に来れば、その内の何割かは何とか行って行くのかなと思います。ただ、少年センターの相談窓口をPRする「カレンダーカード」をもらってそれを見ても、受け取った子が相談する気になるのかな？と思います。対応する相談の内容が具体的に書いてあれば良いのではないかと思います。それと先ほどの相談活動の実施状況報告に相談の事例や解決状況等があれば、生徒から話があった時に紹介も出来るかなと思います。相談窓口のPRに力を入れたいという話がありましたので、何かそういう伝えやすさを考えていただければありがたいなと思いました。

関連して情報・モラルの問題があります。ネット上でのいじめ、思い込みからくる人間関係の問題が多くて、その対応を行っています。現状としては生徒指導的な問題はそんな形で地下に潜ってしまっているということです。

問題をかかえた生徒たちに関しては、今のように人間関係の問題もありますが、中には生徒よりも家庭に問題がある場合があります。経済的な問題やDVなどの家庭的な問題になると、教員では専門的な知識が足りないので専門機関に頼ります

が、そこでも問題があります。各市にはそれぞれそうした相談を受け付ける担当課がありますが、生徒の現住所がある市でないと受け付けてもらえない訳です。こんな例があります。ある子はA市に現住所があるのですが保護者からネグレクト状態で、お祖母さんとB市に住んでいます。経済的な問題を相談しようとするとうとA市とB市の間で宙ぶらりんの状態になってしまうことがありました。そんな例も含めてどこに相談したら良いかということで困ることがあります。

渡辺議長 ありがとうございます。最後にオブザーバーの指導員の方をお願いします。

村井ガザバー 私たちは指導員ということで月に一度、巡回をさせていただいています。私は多治見地区の精華校区ですが、ここ数年落ち着いてきたのではないかと思います。駅が新しくなった時は吸殻も多く、コンビニ前でタバコを吸っている姿が見かけられました。今はほとんど見かけません。吸い殻も少なくなったと思います。巡回時はよく高校生に出会います。声をかけたり、逆にかけられたりしながら活動しています。

野上ガザバー 瑞浪地区ですが、先ほど日比野さんが「最近、子どもたちに会わない。」と言われました。私、今年で5年目になりますが、今までを振り返ってみると、過去は子どもたちを指導することがたくさんありました。我々が巡回することと、皆さんの協力で減ってきたのかなと思います。それと生徒数が減ったのかなとも思います。

瑞浪市街地の班はせっかく回るのならゴミも拾って行こうということでゴミ袋を持って巡回しております。「目的はゴミ拾いか？」と言う方たちもいますが、本当に吸い殻、ゴミ等が散乱しています。高校生なのか一般人が捨てたのかわかりませんが。特にバロー中央店の裏にある19号地下通路はすごいです。それに通路内のらくがきが多発します。毎年、市や地域のみなさんに消していただいています。毎月、おかしな事があれば市役所や交番に連絡しながら巡回しています。

宮木ガザバー 土岐地区は、地区ごとに8班と特別班が2班の合計10班の56名で構成されています。今年は土岐地区の指導員の参加率が少し低い。班長会などで、工夫をして日時を変更しても良いことも伝えておりますが、それが課題です。

通常班は学校、公民館、コンビニ、書店等を巡回していますが、我々の特別班はパチンコ屋とかゲームセンターをメインで巡回しています。時々中学生らしき子どもがパチンコ屋に来るといった情報があって、店の方からも寄ってほしいという声もあり巡回しています。また、携帯電話店の近くはWi-Fiの電波が飛んでいるので子どもたちが集まりやすいのではという話もあり、そんなところも巡回しています。

渡辺議長 ありがとうございます。それではこれで本日の運営協議会を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。